

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-164165 (P2003-164165A)  
【公開日】平成 15 年 6 月 6 日 (2003.6.6)  
【出願番号】特願 2002-325441 (P2002-325441)  
【国際特許分類第 7 版】  
H 0 2 M 7/48  
【F I】  
H 0 2 M 7/48 R

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 9 月 7 日 (2005.9.7)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】請求項 1  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【請求項 1】可変速度で駆動される 3 相のジェネレータ (10) を 3 相 (R、S、T) の電力供給網と接続するための回路装置において、この回路装置が、ジェネレータ (10) から電力供給網へのエネルギー流のためには、ジェネレータ側のダイオード・整流器 (20) と、ジェネレータ側の昇圧変換器 (20 との組み合わせによる 11) と、直列接続された 2 つのコンデンサグループ (410、420) から形成されている中間回路 (40) と、供給網側のインバータ (30) とから成り、並びに、エネルギー蓄積部 (90) 又は電力供給網 (R、S、T) からジェネレータ (10) へのエネルギー流のためには、供給網側のダイオード・整流器 (30) と、供給網側の昇圧変換器 (30 との組み合わせによる 50) と、直列接続された 2 つのコンデンサグループ (410、420) から形成されている中間回路 (40) と、ジェネレータ側のインバータ (20) とから成り、ダイオード・整流器と昇圧変換器とインバータが、それぞれ 3 つのジェネレータ側のインダクタ (11) と、それぞれ 3 つの供給網側のインダクタ (501、502、503) と、トランジスタ (211 ~ 216、311 ~ 316) 及びダイオード (201 ~ 206、301 ~ 306) から成るジェネレータ側及び供給網側のインバータ自体と、ジェネレータの中性点並びにコンデンサグループ (410、420) の直列接続の中心点と接続されている供給網中性線 N とから形成されることを特徴とする回路装置。